



令和元（2019）年11月18日

三河材をつかった乳幼児向けおもちゃの開発 ～デジタルファブリケーションを活用したものづくり～

<概要>

新たなものづくり技術として注目されるデジタル・ファブリケーションを用いて、豊橋市の木育への取り組みに資するおもちゃの開発を行ないました。このおもちゃづくりは、建築・都市システム学系 水谷研究室とメイカーズ・ラボとよはしが共同で行った三河材活用に関する研究活動から発展したプロジェクトで、こども未来館ここにごと地元企業（株式会社豊川堂、株式会社イトコー、授産所ふくふく）が加わった産官学の取り組みとして実施したものです。また、豊橋市の市民活動若者支援（わかば）補助金を受けて学生主体で実施する「三河材の普及を目的とした木育プロジェクト」の活動とも関連したプロジェクトです。ここで乳幼児向けに開発された三河材（ヒノキ）のおもちゃは、こども未来館ここにごが実施する「チャイルドサポートプラン」の記念品として配布予定です。



図 1. デザイン開発した三河材をつかった乳幼児向けおもちゃ

本件に関する連絡先

広報担当：総務課広報係 前田・古橋・高柳 TEL:0532-44-6506